

～市民による救済活動の源流を訪ねる～

記録と記憶 から振り返る 関東大震災

2023

2013

2003

1993

1983

1973

1963

1953

1943

1933

1923

2023/2/12(日) 10:00～15:00

AM: 講話 PM: フィールドワーク

会場: 社会福祉法人興望館

1923年9月1日に発生した関東大震災から100年を迎えます。関東大震災は、地震や火災などにより甚大な被害をもたらしました。その救援や復興においては、多くの市民が活躍し、それらの動きは、その後の民間福祉やボランティア・市民活動にもつながっています。

この分科会では、講話とフィールドワークを通して、関東大震災の史実とそれを裏付ける記録から当時の様子を辿り、そして地域で積み重ねられてきた実践とその記憶を合わせて、災害と市民による救援活動や地域づくりについて考えます。

講師 野原健治さん

社会福祉法人興望館
理事長



講師 服部榮さん

一般財団法人
本所賀川記念館 理事長



フィールドワークナビゲーター 坂井新二さん

元東京都人権啓発センター専門員
同東京都平和祈念館(仮称)資料収集専門員
現在は近県の大学附属資料館学芸員をつとめている



台東区(旧浅草区)エリアから荒川区の南側にかけて20年来フィールドワークを引率して来ました。100年前の震災に関する街の記憶がどこまでたどれるか。そこに市民的共助の痕跡は残されているのか。参加される方々とともに、歩きながら考えたいと思っています。

★ 連絡事項

- ・9時45分に社会福祉法人興望館 事務所玄関前集合です
- ・お昼を挟む分科会のため、昼食は各自でとっていただく予定です
- ・フィールドワークの移動に際して発生する交通費は自己負担です
- ・フィールドワークでは外を歩くため暖かい服装でお越しください

進行 藤原孝公さん

学習院大学大学院
人文科学研究科
アーカイブズ学専攻
博士後期課程

